

令和7年度第2回広島市安全なまちづくり推進協議会 議事要旨

1 会議名

令和7年度第2回広島市安全なまちづくり推進協議会

2 開催日時

令和7年7月29日（火）10:00～10:45

3 開催場所

広島市役所本庁舎2階 講堂

4 出席者

(1) 協議会委員

池田ゆみ、稲村勝樹、狩谷あゆみ、香取善文、末本太、堂本澄子、富田守、西田英治、門田圭吾、山重憲三、和田高明（計11名出席、高橋直嗣、竹重幸司、山崎俊恵 3名欠席）

(2) 事務局

市民局長、市民局次長、企画総務局情報政策課長、市民局市民活動推進課長、市民局市民安全推進課長、市民局消費生活センター所長、市民局人権啓発部男女共同参画課長、健康福祉局高齢福祉部高齢福祉課長、こども未来局幼保企画課保育園運営指導担当課長、こども未来局こども青少年支援部青少年育成担当課長、こども未来局こども青少年支援部非行防止・自立支援担当課長、都市整備局緑化推進部緑政課長、道路交通局自転車都市づくり推進課長、道路交通局道路管理課長、道路交通局道路部道路課長、中区役所市民部地域起こし推進課長、東区役所市民部地域起こし推進課長、南区市民部地域起こし推進課長、西区役所市民部地域起こし推進課長、安佐南区役所市民部地域起こし推進課長、安佐北区役所市民部地域起こし推進課長、佐伯区役所市民部地域起こし推進課長、教育委員会学校教育部健康教育課学校安全対策担当課長（計23名出席：代理あり）

5 議題及び会議資料

別紙会議次第のとおり

6 公開・非公開の別

公開

7 マスコミ、傍聴人

傍聴人：1名

8 会議の要旨

(1) 議題(1) 広島市の犯罪情勢について

市民安全推進課長が会議資料1により説明。

(2) 議題(2) 第4次広島市安全なまちづくりの推進に関する基本計画の評価について

市民安全推進課長が会議資料2により説明。

(3) 議題(3) 第5次広島市安全なまちづくりの推進に関する基本計画の骨子（素案）について

市民安全推進課長が会議資料3により説明。

ア 質疑応答

○ 稲村副会長

質問というよりは、情報共有も含めたお願いという形となりますが、特殊詐欺がかなり身近に迫っていると感じています。

先週、広島市立大学に、私の名前をかたって情報を入手しようとした電話があったと大学の事務室の職員から話がありました。

広島市立大学では、教員から問い合わせがあった場合に、本当に教員からの問い合わせであるか確認するための質問項目を定めたマニュアルを作成しており、マニュアルに従って質問したところ回答できず、問い直したところ電話を切られたため、実害はありませんでした。

今までは、警察や裁判所など、大きな組織を名乗り、個人情報を入力したり詐欺を行ったりという事例が多かったのではないかと思います。今後は、公開されている個人の名前を出して信用させて、騙そうとする手法が出てくると想像されます。

次期計画において、詐欺対策を拡充するとの説明がありましたが、被害に遭う人が一人でも減るように、対策をより一層積極的に行っていただければと考えています。

○ 市民安全推進課長

特殊詐欺とSNS型詐欺全般について、非常に大きな被害が発生していることを私どもも自覚しておりまして、早期に皆さんが分かるような情報を提供していくことが市としても必要だと考えています。

今後とも、もしそのような被害がありましたら、情報提供頂ければと思います。よろしくお願いします。

(4) 議題(4) その他

痴漢防止対策に関するアンケート調査結果について、市民安全推進課長が説明。

ア 質疑応答

○ 狩谷会長

オトモポリスや女性専用車両に関する質問がアンケートの中にありました。

女性専用車両については、関西など広島以外の都市部で採用されているところでは長い歴史を持っていますが、広島にはまだありません。女性専用車両がどの程度高校生に知られているのか気になりました。

また、オトモポリスについては、高校生が痴漢対策としてどのくらい使えるとか、防犯対策として具体的にどの程度知っているのか気になりました。

オトモポリスや女性専用車両について、「知っている」、「知らない」という質問があれば、これらの認知度を図ることができたと思います。

これらの認知度について、把握されている範囲で教えてください。

○ 市民安全推進課長

県警の安全安心アプリ オトモポリスについては、広島市内の中学生に対しては当課職員が防犯教室を行った際に必ず紹介しています。また、県警においても、小・中・高等学校等で防犯教室を行った際に紹介しているとの事でした。従いまして、県内高校生の認知度はかなり高いことと推認されます。

また、令和5年に県警が行った県民の安心感に関する調査結果によりますと、有効回答数が2,297人のうち、31.8%の方が知っていると回答しています。

また、同アプリは、令和7年1月末現在で、約11万3,000ダウンロードされておりまして、これは県民の約4%がダウンロードしている計算となります。

しかしながら、今回のアンケートではオトモポリス及び女性専用車両の認知度について質問しておりませんので、今後のアンケートの参考にさせていただければと思います。

(5) 意見交換
意見なし。

(6) 閉会